

第三学年 国語

1. 学習のねらい	
学習のねらい	・日本語を適切に表現し正確に理解する能力を育て、伝え合う力を高めるとともに思考力や想像力をつけ言語感覚を養う。
使用教材	国語3 (光村図書)、中学書写 (光村図書)、国語の学習3 (明治図書)、単元別漢字 (秀学社)、 国語便覧 (浜島書店) すらすら基本文法 (浜島書店)

2. 評価の観点および方法		
評価の観点		評価の方法
① 知識及び技能	<p>社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。</p> <p>○言葉の特徴や使い方に関する事項</p> <p>○情報の扱い方に関する事項</p> <p>○我が国の言語文化に関する事項</p>	<p>・ペーパーテスト</p> <p>・漢字などの小テスト</p> <p>・書写作品の課題への取り組み</p>
② 思考力・判断力・表現力等	<p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。</p> <p>○話すこと</p> <p>○聞くこと</p> <p>○読むこと</p>	<p>・音読、スピーチなど</p> <p>・聞き取りテスト</p> <p>・授業ノート</p> <p>・ペーパーテスト</p> <p>・作文など課題への取り組み</p>
③ 主体的に取り組む態度	<p>言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養おうとしている。</p>	<p>・「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」の観点の学習状況を踏まえた総合評価</p> <p>・振り返りシート</p> <p>・プリントなどの提出物 (内容の充実)</p>

3. 学習計画		
各単元と主な内容	観点別評価の具体例	
3年1学期	<p>○深まる学びへ</p> <p>① 世界はうつくしいと</p> <p>② 握手</p> <p>③ 学びて時にこれを習ふ</p> <p>- 「論語」から</p> <p>④ 熟語の読み方</p> <p>○視野を広げて</p> <p>⑤ 作られた「物語」を超えて</p> <p>⑥ 説得力のある構成を考えよう</p> <p>⑦ 文法への扉1</p> <p>○情報社会を生きる</p> <p>⑧ 報道文を比較して読もう</p> <p>○言葉とともに</p> <p>⑨ 和語・漢語・外来語</p> <p>⑩ 俳句の可能性 俳句を味わおう</p> <p>○読書生活を豊かに</p> <p>⑪ 読書を楽しむ</p> <p>⑫ 「私の一冊」を探しにいこう</p>	<p>②文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。【思・判・表】</p> <p>③歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。【知・技】</p> <p>④漢字の音訓や熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。【知・技】</p> <p>⑤文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。【思・判・表】</p> <p>⑥情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。【知・技】</p> <p>⑦単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成文の順序や照応など文の構成について理解している。【知・技】</p> <p>⑧文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。【思・判・表】</p> <p>⑨和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。【知・技】</p> <p>⑩表現の仕方を考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。【思・判・表】</p> <p>⑪自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。【知・技】</p> <p>⑫文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。【思・判・表】</p>

2学期	<p>○状況の中で</p> <p>①挨拶 - 原爆の写真によせて</p> <p>②故郷</p> <p>○自らの考えを</p> <p>③人工知能との未来</p> <p>④人間と人工知能と創造性</p> <p>⑤合意形成に向けて話し合おう</p> <p>⑥初恋</p> <p>○いにしへの心を受け継ぐ</p> <p>⑦和歌の世界</p> <p>⑧古今和歌集仮名序</p> <p>⑨君待つと</p> <p>⑩夏草</p>	<p>①比喩や象徴的な表現に着目し、文脈の中での意味を考えている。【知・技】</p> <p>②自分の知識や経験を比べたり、語り手や人物の立場、時代背景などを変えて読んで、作品のもつ特性や価値を探っている。【思・判・表】</p> <p>③④2つの文章を比較して共通点や相違点を表にまとめ、それを基に話し合っている。【思・判・表】</p> <p>⑤進行のしかたを工夫したり互いの発信を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。【思・判・表】</p> <p>⑥詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。【思・判・表】</p> <p>⑦⑧朗読して比喩的な効果を確認しながら、和歌に対する古人の思いを捉えようとしている。【知・技】</p> <p>⑨和歌の表現のしかたについて評価している。【思・判・表】</p> <p>⑩長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。【思・判・表】</p>
3学期	<p>○価値を生み出す</p> <p>①誰かの代わりに</p> <p>②情報を読み取って文章を書こう</p> <p>○読書に親しむ</p> <p>③本は世界への扉</p> <p>○未来へ向かって</p> <p>④温かいスープ</p> <p>⑤わたしを束ねないで</p>	<p>①抽象的な概念を表す語句を辞書で調べたり、文脈上での意味を確認したりしながら、文章を読んでいる。【知・技】</p> <p>②論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。【思・判・表】</p> <p>③2つのノンフィクションを読み、読書によって、さまざまな状況に生きる人々やそこで活動する人々について知ったり、読書が自分の生き方を支えてくれることに気付いたりする。【知・技】</p> <p>④自分の生き方と作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何か自分の考えをまとめている。【思・判・表】</p> <p>⑤詩に描かれた情報や作者の思いを想像しながら、社会状況や人間の生き方について考えている。【思・判・表】</p>
1～3学期 (適宜)	書写	身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書いている。 【知・技】

4. 学習方法について

学校	<ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をしない。 ・提出物の期日を守る。 ・授業を大切にす。 ・先生の話やクラスメイトの意見をしっかり聞き、自分の考えを広げる。 ・ノートは、必ず板書を写し、丁寧に工夫して作る。 ・わからないことがあれば質問し、解決していけるようにする。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・予習・復習の習慣の定着。(教科書を読み、ノートやワークの見直しをする。) ・漢字や文法は何度も練習問題に取り組み、学習する。 ・課題は確実に取り組む。 ・読書の習慣をつける。